

平成29年度事業計画報告の件

公益社団法人として、公益に資する事業を展開すると共に、会員にとっても魅力ある事業を展開し、会員満足度を高め、その結果として退会防止並びに未加入法人の入会に結びつけられるよう以下の基本方針の下、各種事業・施策について展開してまいります。

《事業展開の基本方針》

- 本部・支部・部会で行うべき事業の仕分けを行い（後述）、それぞれが果たすべき役割に応じた事業を確実に実行する。
- 法人会の基幹組織である支部事業を重視し、役員と会員が同じ“志”を持ち、情報を共有できる“顔の見える組織”作りを確実にを行い、広く会員間の“絆”を深めることを主眼に、退会防止と新規獲得を強く意識した事業を企画・実行する。
- 広報活動（情報伝達）
あらゆる機会を捉え、会員のみならず地域社会に対し、積極的に法人会をアピールするよう全組織一丸となって取り組む。
- 公益事業と共益事業を会全体としてバランスよく展開する。

《本部・支部・部会各事業の展開基本方針》

【本部事業】

次の4つの視点から事業を展開する。

1. 本部事業に相応しい事業（必須事業）
 - ・通常総会
 - ・新春の集い
 - ・夏期経営者講座
2. 一般（非会員）を対象に実施（公益認定団体として実施すべき事業）
 - ・税を考える週間記念講演会&街頭イベント
 - ・税に関する絵はがきコンクール表彰式典
3. 本部一括実施が効率的な事業（主に事務局ベースで開催可能なもの）
 - ・新設法人説明会 ・決算法人説明会 ・税制改正説明会 ・年末調整説明会 ・簿記講座
 - ・電子申告説明会 ・パソコン講座 ・その他経営実務研修（他会、他団体共催を含む）
4. 事業に参加できない会員対策事業
 - ・情報提供サービスの充実強化（広報誌・ホームページ・メルマガ）
 - ・経営支援サービス充実強化（セミナーDVDレンタルサービス、ビジネス誌割引販売等）
 - ・福利厚生制度の充実強化（保険、レジャー・保養所、人間ドック等）

【支部事業】

支部の活性化が法人会全体の活性化となるよう、広く一般会員が集える事業を企画・実行する。また、単独開催が難しい場合は共催形式（支部合同事業等）を積極的に取り入れるなど、効率

■支部・部会

1. 法人会の各種事業の円滑な遂行を支える基幹組織として、管轄地域毎に所属する会員に対し必要な支援を行い、会員同士の親睦交流に努めると同時に、会員企業及び賛助会員の発展につながる各種研修会の実施、サービスの提供に努める。

2. 青年部会

青年部会は次代を担う人材の集まる組織と位置付け、部会員同士が共に切磋琢磨し学び合い、かつ部会員同志の絆を強める場の提供に努める。また、公益事業としての租税教育にも積極的に取り組む。

3. 女性部会

女性部会は女性経営者（幹部社員を含む）の集まる組織と位置付け、女性経営者同士の交流の場の提供に努めると共に法人会の看板事業である租税教室、税に関する絵はがきコンクールの拡大発展に努める。

4. 専門部会

専門部会は、同業者の集まりとして法人会組織を活かしながら、業種固有の税及び業界研修を行うと共に部会員同士の交流に努め、事業を発展させ、そのことにより法人会に貢献する。

<主な実施事業・施策>

1. 税知識の普及を目的とする事業 <公1-1>

- (1) 租税教育（小学校租税教室、サッカー租税教室、地域イベントにおける税金クイズ）
- (2) 租税教育講師養成勉強会（年8回）
- (3) 新設法人説明会（隔月偶数月開催、年6回）
- (4) 決算法人説明会（3月のみ2回で年13回）
- (5) 年末調整説明会（11月）
- (6) 電子申告普及促進事業（3月）
- (7) 税制研修会（7月、9月、10月、12月、2月、3月）
- (8) 広報誌（年6回発行）、ホームページ、メルマガによる税関連情報の発信

2. 納税意識の高揚を目的とする事業 <公1-2>

- (1) 税を考える週間記念講演会（11月17日）
- (2) 税に関する絵葉書コンクール（3月）
- (3) 納税表彰式（11月14日）
- (4) 無料税務相談会（原則月1回）
- (5) 広報誌（年6回発行）、ホームページ、メルマガ、ポスター掲示による税関連情報の発信

3. 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に資する事業 <公1-3>

- (1) 税制改正アンケートへの参画（3月～5月）
- (2) 全国女性フォーラム（4月）、法人会全国大会（10月）、全国青年の集い（11月）、への参画
- (3) 自治体等への税制改正要望の陳情活動（10月～11月）

- (4) 全法連、東法連税制委員会主催セミナーへの参加（開催の都度随時）
- (5) その他団体主催の税関連セミナーへの参加（開催の都度随時）

4. 地域企業の健全な発展に資する事業 <公2>

- (1) 夏期経営者講座（8月25日）
- (2) 経営実務講座（6月、7月、9月、1月、3月）
- (3) パソコン講座（8月に3回）
- (4) 会計処理、簿記講座等（9月）
- (5) 起業家支援講座（10月、11月、12月）
- (6) 企業会計の基本講座（11月）
- (7) IT活用業績セミナー（1月、3月）
- (8) 無料経営相談会、無料法律相談会（原則月1回）
- (9) 広報誌、ホームページ、メルマガ、掲示板による経営関連情報の発信
- (10) インターネットセミナー・オンデマンドの活用促進

5. 地域社会への貢献を目的とする事業 <公3>

- (1) 中学生キャリア教育支援（職業人の話を聞く会、職場体験学習受入企業の開拓）
- (2) 環境美化事業（野川クリーン作戦、仙川クリーン作戦）
- (3) 東京都地球温暖化防止対策報告書制度の普及促進
- (4) 地域イベント支援（武蔵野桜まつり、三鷹阿波踊り、三鷹商工まつり、小金井なかよし市民祭り、小金井阿波踊り、青少年科学の祭典、小金井桜落ち葉回収作戦）
- (5) 各種チャリティ事業（コンサート、ボウリング、ゴルフ等）
- (6) タオル1本運動

6. 収益を伴う会員のための福利厚生事業 <収1>

- (1) 生活習慣病健診及び人間ドック等の利用促進
 - ・全日本労働福祉協会（三鷹で夏期・秋期の延4回）
 - ・武蔵村山病院のがん検診PET-CT（随時）
- (2) 東法連提携「ラフォーレ倶楽部」「ホームセキュリティ制度」利用促進
- (3) 東法連提携「特定退職金共済制度」の普及促進
- (4) 東法連提携ビジネス誌の割引購入制度の利用促進
- (5) 経営者大型保障制度を始めとする各種保険制度の利用促進
- (6) 厚生制度推進連絡協議会の開催
- (7) 葬祭、自販機、レンタカー、クレジットカード、電報等の各取扱い指定業者の割引紹介サービスの利用促進
- (8) 保養施設（ニューグリーンピア津南）の利用促進
- (9) 簡易保険団体保険料払込制度の促進

7. 会員支援のための親睦・交流等福利厚生に関する事業 <他1>

- (1) 会員優待サービス事業の定着と拡大発展
- (2) 文化事業チケット購入補助制度の運営
- (3) 会員交流ボウリング大会の開催
- (4) 日帰りバス見学研修会の開催
- (5) 企業視察見学研修会の開催
- (6) 同好会活動の支援
- (7) 新年賀詞交歓会の開催
- (8) その他会員交流事業の開催
- (9) 福利厚生制度「新規加入 GO GO キャンペーン」の促進

8. その他本会の目的を達成するために必要な事業 <法人会計>

- (1) 会員増強運動による組織基盤の強化
 - ・支部における会員増強運動の展開
 - ・会員増強決起大会開催及び増強運動に対する表彰
 - ・厚生制度受託各社との連携と協力体制の強化
 - ・“顔の見える支部組織”の充実を図る（地区割りと地区役員体制の充実）
- (2) 総会・理事会等各会議体の適正運営
- (3) 全法連・東法連・三法連との連携協調
- (4) 税務行政関係諸団体との連携
- (5) 関係自治体、行政機関との連携（武蔵野市、三鷹市、小金井市、各市教育委員会・警察・消防）
- (6) 関係地域諸団体との連携（商工会議所、商工会、社会福祉協議会等）

以 上